

蒲生公民館図書室 7月の展示紹介



「ホラー・怪談」

暑い夜には背筋も凍る恐怖を…
ホラー、怪談作品を特集。

「火のないところに煙は」
芦沢央（新潮社）



「営繕かるかや怪異譚」
小野不由美（KADOKAWA）

「神楽坂を舞台に怪談を書きませんか」…突然の依頼に、作家の主人公はかつての凄惨な体験を振り返る。戦慄の暗黒ミステリ。



雨の日に鈴の音が鳴れば、それは怪異の始まり。人気作家が紡ぐ、不思議な縁とじわじわ忍び寄る恐怖…極上のエンタテインメント小説。

「夏の絵本」

七夕、夏祭り、海水浴…楽しいことが盛り沢山の夏の絵本を特集。



「うみのそこたんけん」 中川ひろたか 著
うみぼうずの子どもたちと海底を探検！海の中の、さまざまな不思議な生き物に出会える絵本。

「ねこのはなびや」 渡辺有一 作
夜空に打ち上がるたくさんの花火は、ねこの花火師にとって年に一度の晴れ舞台。花火の鮮やかな絵本。

「夏休み課題図書」

いよいよ夏休み。課題図書や宿題に役立つ本を特集。

「それで、いい！」 礒みゆき 作
絵を描くことが大好きなきつね。展示会に絵を出すことになり…（青少年読書感想文コンクール 低学年課題図書）
「理系脳をつくる食べられる実験図鑑」 中村陽子 著
「科学のふしぎ」をキッチンで解明。楽しくておいしい実験ができる、自由研究に役立つ一冊。

